



令和5年5月12日

中学生からの理系進路選択支援に力を入れます
「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」が JST で採択決定
令和7年度入学選抜(令和6年度実施)に女子枠を導入

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)事業である「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に、宮崎大学工学部が主体となって申請した「集まれ！宮崎アマテラスガールズ～サイエンスの岩戸を開けてみよう～」が採択されましたのでお知らせします。

また、令和7年度入学選抜(令和6年度実施)における、学校推薦型選抜において女子枠を新設することとし、工学系人材となることを志す女子生徒の受け入れ・人材育成を加速化させることとしましたので、併せてお知らせします。

つきましては、下記のとおり、マスメディア関係者を対象にした説明会を実施することとしましたので、取材について検討していただきますようお願い申し上げます。

記

- 日 時：令和5年5月19日(金)10:00 - 11:00
- 形 式：対面式と Zoom によるオンライン形式での説明
- 場 所：地域デザイン棟(木花キャンパス)が発信拠点となります。
- その他：参加いただける場合は企画総務部総務広報課にメールにて申し込み下さい。

ポイント

■ JST 事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」(詳細は別紙1・2)

- ① 事業期間：2年(令和5年～令和6年)
- ② 予算規模：約1,300万円(2年間)
- ③ 共同機関：宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会
- ④ 連携機関：九州電力株式会社、旭化成株式会社、株式会社デンサン
- ⑤ そ の 他：中学生も含めた形で理系進路選択の支援を行い、今後必要とされる人材育成を行う。

■ 令和7年度入学選抜(学校推薦型選抜)に女子枠を導入

- ① 令和6年度に実施する学校推薦型選抜において、工学部に新たに女子枠を設ける。
- ② 新たに設ける女子枠の募集人員は14人(総定員数370人)

- ① 発信元・申込先：総務広報課広報係(後田)
TEL：0985-58-7114
E-mail：kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp
- ② 問い合わせ先：工学部総務係(中村)
TEL：0985-58-2871
E-mail：kousoumu@of.miyazaki-u.ac.jp

JST 事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」

集まれ！宮崎アマテラスガールズ ～サイエンスの岩戸を開けてみよう～



日本国内の4年制大学の工学分野における女子比率は15.7%で、経済協力開発機構(OECD)加盟の調査対象国の中で最低であり、宮崎大学工学部の過去7年間平均の女子比率は11.3%で全国平均よりもさらに低い状況が続いています。

本学では、これまで、平成21年度から女子高生の理系進路選択支援を目的とした、啓発のためのさまざまなイベントを通じて女子学生の理工系への進学率の低さを解消することに取り組んできましたが、このたび、その取り組みを拡充して実施することにしました。

「集まれ！宮崎アマテラスガールズ～サイエンスの岩戸を開けてみよう～」は、これまで高校1、2年生を対象としてきた取り組みを中学生にも対象を拡大し、また、中高生本人の進路選択に大きな影響力を持つ保護者に対しても工学部について深く理解してもらう機会を提供していくため、様々な企画を年間通じて実施していくこととしています。また、共同機関(宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会)および連携機関(九州電力株式会社、旭化成株式会社、株式会社デンソー)と密接に連携しながら進め、1年間で600人(教員・保護者を含む)のイベント参加を目指すとともに、これらの取り組みを宮崎県内に波及させていくことで、中高生を取り巻く人々、さらには、社会全体の意識の変化をもたらす、将来工学部を目指す優秀でかつ多様な人材の増加を目指します。

さらに、令和7年度学校推薦型選抜から工学部で女子枠を新たに導入します。これまで、大学で実施したアンケートにおいて、女性の比率が低いことを理由に女子受験生の志願自体が躊躇されていたり、入学してからも男子学生中心の議論に入りづらいとの意見も見られました。理工系の知識や技能を修得した女性の輩出が企業や社会から多く求められている状況のなか、大学に多様な価値観をもつ学生や教職員が集まることで、個々の多様性を認識・尊重し、社会問題の解決のためのよりよい教育研究環境を整えることで、これまで以上に女子中高生が理系の進路を選択しやすくなることを目指します。

■ 「集まれ！宮崎アマテラスガールズ～サイエンスの岩戸を開けてみよう～」実施予定事項

実施項目		取組概要 (開催時期・概要は必ず記載してください)	対象者別延べ人数		
			女子 中学生	女子 高校生	保護者教員
①	サイエンスキャラバン	2023.9～2023.12 概要:女性研究者または女子学生が宮崎市内中学校を訪問し、工学部の学業・研究の様子、卒業後の進路などを説明し、工学部の魅力を紹介する。	220名	—	教員 10名
②	講演会	2023.8、2024.1「活躍する理系女性たち」 概要:女子生徒や保護者を対象に女性理系選択者のロールモデル、ワークライフバランスなどを紹介する。	70名	50名	保護者 30名 教員 5名
③	アマテラスサイエンス体験講座	2023.8、2024.3 概要:宮崎大学工学部において、ミニ講義や実験体験を提供する。大学内の施設見学も取り入れる。	60名	40名	保護者 15名 教員 5名
④	エンジニアリングカフェ	2023.11、2024.2 概要:在学女子学生、女性研究者、大学OGと親しく情報交換できる空間を提供する。また、女子中高生同士が深く交流できるイベントを実施する。	50名	30名	保護者 25名
⑤	施設見学	2023.11、2024.2 概要:連携機関である県内企業を訪問し、施設見学および女性社員との交流	50名	30名	保護者 20名 教員 10名
⑥	教員対象情報交換会	2023.9、2024.3 概要:進路指導担当者研修や校長等管理職研修の場で、教員対象に、工学部進学のポイントや大学卒業後の進路について説明する。	—	—	教員 70名
⑦	全体会議	2023.8、2024.3 概要:企画やプログラム開発のための会議	—	—	—
合計人数			450名	150名	190名

※取組については、現在詳細を検討中のため、8月以降複数の取り組みを同時に進めて行く予定です。